

茶屋之町 自治会だより



令和3年1月15日号
発行者：茶屋之町自治会

No.58

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス禍は沈静化せず、自治会活動も自粛を余儀なくされております。毎年、「茶屋さくら通り／鳴尾御影線」の落ち葉清掃に大きな労力を強いられる11月、12月の作業量軽減対策として、ボランティア団体等に協力要請の声を掛けさせていただいたところ、下記の通り快く引き受けていただきました。また長年、芦屋市にお願いしていた清掃作業への人員の派遣も実現することができました。お陰様で町内も気分一新、新しい装いで新年を迎えることができました。

今年は平穏な一年になることを願っています。（自治会だより編集委員会）

ボランティアの協力による清掃活動

<NALCナルク芦屋>



←初日の
集合写真



←2日間
で延べ
20名が
「さくら通
り」の
歩道、車
道を清掃

[参加者のコメント]

★毎年茶屋秋祭で、ナルク芦屋のバザーをさせて頂き有難うございました。

今年はコロナで中止となり残念でしたが、今までお世話に成りましたお礼の気持ちを込めて…来年の桜の花見を思い乍ら…清掃も楽しく出来ました。 ナルク芦屋会員 中川輝子

★毎年春に見事な桜並木で楽しませて頂いている茶屋之町のさくら通り、落ち葉集めのボランティアにナルク芦屋の仲間と参加させて頂きました。南北330メートルの主に車道の桜の落ち葉ですが、濡れ落ち葉もあり、ひと昔まえに定年退職男性を比喻することばとして、よく使われました。その歳になってみて、成る程集め難いものだと苦笑しながら作業を進めました。用途に合わせて手配され、整理された掃除道具にも、芦屋の桜の名所を維持する茶屋之町の皆さんの心意気を感じさせて頂きました。 ナルク芦屋代表 植田英三郎

<クラーク記念国際高等学校>



引率の先生(右)を囲んで

[参加者のコメント]

落ち葉の量が思っていた以上に多く、どうなるかと思いましたが、みんなで協力して清掃をできたことは良かったです。とても楽しく有意義な活動になりました。
高校2年男子生徒



鳴尾
御影線
の歩道
を清掃

芦屋市からの派遣による清掃活動

<みどり作業所>



3人1組となって火曜、金曜日に歩道清掃（さくら通り／鳴尾御影線）



<シルバー人材センター>



5人1組となって火曜日、金曜日に歩道清掃（鳴尾御影線）



茶屋公園花壇、茶屋さくら通りプランターの花苗



↑ 12月12日 →
茶屋公園花壇の植替え



↑ 12月23日
茶屋さくら通りプランターの植替え

子ども会のクリスマス



↑（低学年&幼児）
安木さん手作りのバルーンアートで遊ぶ



←
低学年&幼児）
ビンゴゲーム



↑（高学年）ゲーム

〔世話役のコメント〕

コロナ禍ということで、短時間、密にならない、アルコール消毒、換気、体温チェックとイレギュラーなクリスマス会となりましたが、たくさん子ども達が参加してくれました。低学年&幼児のお部屋ではバルーンアートの先生に実演して頂き楽しませて頂きました。高学年のお部屋では騒ぐ事無く静かにゲームをする事が出来ました。短い時間ではありましたが子ども達が楽しく過ごせ、安全に開催出来た事が何よりよかったですと思います。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

スマホ・カフェ・・甲南高校生活躍

★第2回目を11月14日に茶屋集会所で開催

甲南高校のボランティア委員会所属の生徒5名が講師となってマン・ツー・マン指導

★活動内容が報道され、高校生ボランティアアワードを受賞



神戸新聞に掲載されました。

(右)高校生ボランティアアワード2020で同校がSOMPOケア賞を受賞
詳細は下のURLをクリック

https://lion.or.jp/va/about/summary_2020/award_2020/



★以下に今回対応した高校生の感想を紹介

(注1) 字数の関係で文字を少し小さくしました

(注2) コメントいただいた高校生と右の写真は関係ありません

● 高2 A君

私は今回2回目のスマホ講座だったが、1回目の反省点をしっかり活かし改善出来たと考えている。前回の反省点は、相手の方に説明しただけだったという点である。今回は教えた後に実際に試してもらったり、やり方のメモを書いたり、絵を描いて家に帰って忘れた時でも思い出していただけるように工夫した。しかしながら、また新しく反省点が生まれた。それは、相手の方が何を知りたいから分からないとなっている状況での対応だ。今回は途中からやりたいことが見つかったので良かったが、次からはやる事が無くならないように、教える物リスト的なものを作ってもいいんじゃないかと考えた。スマホ講座でリーダーとして、リーダーとしての自覚を持ち茶屋之町での活動を継続、拡大していきたい。

● 高1 B君

私は今回初めて「スマホ講座」のボランティアに参加しました。そこでたくさんの事を学びました。スマホ講座に参加前「どんな事を聞かれるのだろうか?」「ちゃんと高齢者の方に教える事が出来るのかな?」など不安でいっぱいでした。しかし、実際高齢者の方に教えてみると案外スムーズに行き、自分に自信が持てました。また、高齢者の方がとても喜んで下さり僕はとても嬉しかったです。しかし、今回反省点もあります。それは、教える事が無くなった時に何をすればよいか分からない時間がたくさんあった事です!これからはあらかじめ高齢者からどのような事を聞かれるかや、教えておいた方が良い事を勉強してから行けるようにしようと思います。このような機会を作って下さり本当にありがとうございます。



この項、次ページに続く

●高1C君

今回のスマホ講座は私にとって大きな経験となった。私は講座に参加する前に高齢者の方が質問なさるであろうことを予想して参加した。しかし実際は私の予想外の質問があった。例えば Siri の使い方や LINE での友達追加やトークの仕方などがあった。私たちが普段から使っていたものだったのでこれらの質問はないと思っていただけで最初は慌てた。しかし次第に慣れていった。また高齢者の方々はフレンドリーであったので非常に話しやすく楽しくできた。高齢者の方も事前に質問を用意していたので直ぐに質問に答え易かった。高齢者の方と話していると普段は気づかないことが多く非常に勉強になった。今回のスマホ講座を通して学んだことは私たちの目線と高齢者の方では物事に対する目線の違いなどを勉強するいい機会になった。さらにボランティアをしたい気持ちが高まった。本当にこのスマホ講座は非常に良い経験になりました。このような機会を設けてくださりありがとうございます。



●高1D君

私は今回のスマホ講座はとてもいい体験になりました。このスマホ講座が初めてのボランティア活動でした。私は人に何かを教えたり伝えたりするのが苦手なため初めはとても心配でした。しかも相手は高齢者の方だったので最初はどのように話したらいいのかもわかりませんでした。しかし、私の相手の高齢者の方は教えてほしいことを丁寧に教えてくれたので私も丁寧にわかりやすく教えようと思いました。私は LINE の使い方を教えました。高齢者の方には LINE は難しくキーボードの打ち方も教えました。教えたらくさんありがとうございますと言ってくれたのでとてもうれしかったです。最初は心配だったけど教えていくうちに楽しくなってきた。これからのボランティア活動にも積極的に参加しようと思いました。



●高1E君

今回のボランティア「高齢者のスマホ講座」は私の初めてのボランティア活動で、スマホ講座が始まるまではすごく緊張していました。なぜなら私には今まで、自分から何かアクションをして人助けするというような機会が少なかったからです。そして、今高齢者の方々はコロナウイルスで重症化リスクの高い中、コロナ対策をしっかりと、私たちのボランティア活動に参加してくれたことにすごく嬉しく思いました。実際に、高齢者の方々と話してみると、すごくフレンドリーに話してくださって私もすごく話しやすかったですし、教えやすかったです。一つ一つ教えていく中で、教えた方が「なるほど、ありがとうございます。」と毎回おっしゃってくれて私たちもすごく嬉しい気持ちになりました。高齢者の方々も、事前に何を教えてもらったらいかなどメモしていらしゃってスムーズにスマホ講座を進行することができました。最後に、現在、AI や最新テクノロジーを使った社会になりつつあり、私たちもスマホなどの機械と向き合っていく中でやはり高齢者の方々は何をどうしたらいいのか、どう使ったらいいのかがわからずなかなかスマホを活用できていない現状にあるため今回の「スマホ講座」のような機会をもっと増やし高齢者がスマホを使ってより良い生活をおくれたら良いなと思いました。今回のスマホ講座を通して私も自分ができる限り多くボランティアに参加し、高齢者の未来に少しでも助けに慣れたらなと思いました。最後に、今回は本当にこのような機会を作って頂き有難うございました。

事業者の皆様 **食事券の精算お忘れないように！**

敬老の日の食事券の使用は11月末で終了しました。
現金への精算が未だお済みでない事業者はお忘れない
ようお願いいたします。精算期限は特にありません。
(精算、問い合わせ先 西本商店)

特殊詐欺にご用心！

警察、銀行、大丸からの電話で
カード番号の問い合わせることは100%ないので、あれば警察へ
通報を。 市内で2件被害発生